

AgriPoucher®コンポストキット使い方



<用意するもの>

- AgriPoucher®コンポストキット
- シャベル
- 園芸台、レンガなど下に敷くもの
(蒸れないように隙間が作れば何でもOK)

使い方動画は[こちら](#)

地球LaboオフィシャルYouTubeより

使い方は簡単！

- ①コンポストバッグに基材をいれる。
- ②キッチンで貯めた生ごみをバッグにいれて混ぜるだけです。

3週間～2か月ほどして生ごみが分解しにくくなったら、生ごみ投入を一旦ストップ。中身を3週間ほど熟成させて堆肥にします。

堆肥ができたなら取り出し、新しい基材をいれて生ごみを入れ始めます。

- 1日あたりの投入量の目安は300g、投入期間の目安は3～4週間です。
(重さを毎日計測する必要はありません。日々出た生ゴミを入れてください。投入期間も個人差がありますので、少なめの方は投入期間を延ばしてご利用ください)
- 置く場所は、室内でも屋外でもOK。どちらも、下からの湿気防止に園芸台の上に置くと風通しが良く安心です。屋外の場合は雨の当たらない場所、夏場は直射日光の当たりにくい所に置いてください。逆に冬場は時々、日向ぼっこのように陽に当てると微生物も喜びます。
- 生ごみがなかなか分解しなくなってきたなと思ったら、生ごみ投入を一旦ストップして熟成期間にはいります。
熟成期間の目安は約3週間。2～3日に1回かき混ぜつつ、バッグの中で寝かせます。混ぜることにより、空気が循環し好気性菌が活発化することで微生物の働きが促進します。(バッグを持って振るだけでもOK)
熟成スタート時には大きなお団子状のものがゴロゴロしていますが、どんどん分解していくとそのお団子状のものが小さくなっていきます。そうしますとそろそろ熟成完了し、堆肥が出来上がってきます。
- 堆肥ができたなら、バッグから取り出して同量程度の土と混ぜれば、野菜やハーブに適した栄養たっぷりの土になります。
- 空いたバッグには、新しい基材をいれて、また生ごみ分解を始めていきましょう。

まずは1個で使ってみてください！慣れてきたら、2個のバッグを交互に使っていただくと、堆肥熟成中も生ごみを入れ続けることができますよ。